株式会社 エム・システム技研

M-Bus 製品シリーズ

取扱説明書

RS-232-C 用
コンピュータ インタフェース

形 式
DLC2

ご使用いただく前に

このたびは、エム・システム技研の製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。本器をご使用いただく前に、下記事項をご確認下さい。

■梱包内容を確認して下さい

・DLC2 **本体** ..... 1 **台**

■形式を確認して下さい

お手元の製品がご注文された形式かどうかスペックラベルで形式と仕様を確認して下さい。

■設定および動作

ステーションアドレスを設定して下さい。

RS-232-C **ケーブルはクロス（リバース）をお使い下さい。**

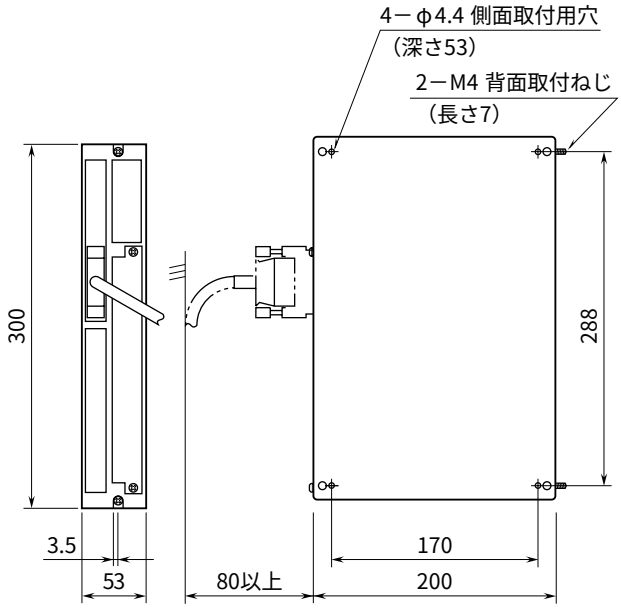
電源表示ランプ、RUN **表示ランプが点灯することを確認して下さい。**

DIP **スイッチはすべて** OFF **にして下さい。**

接　続

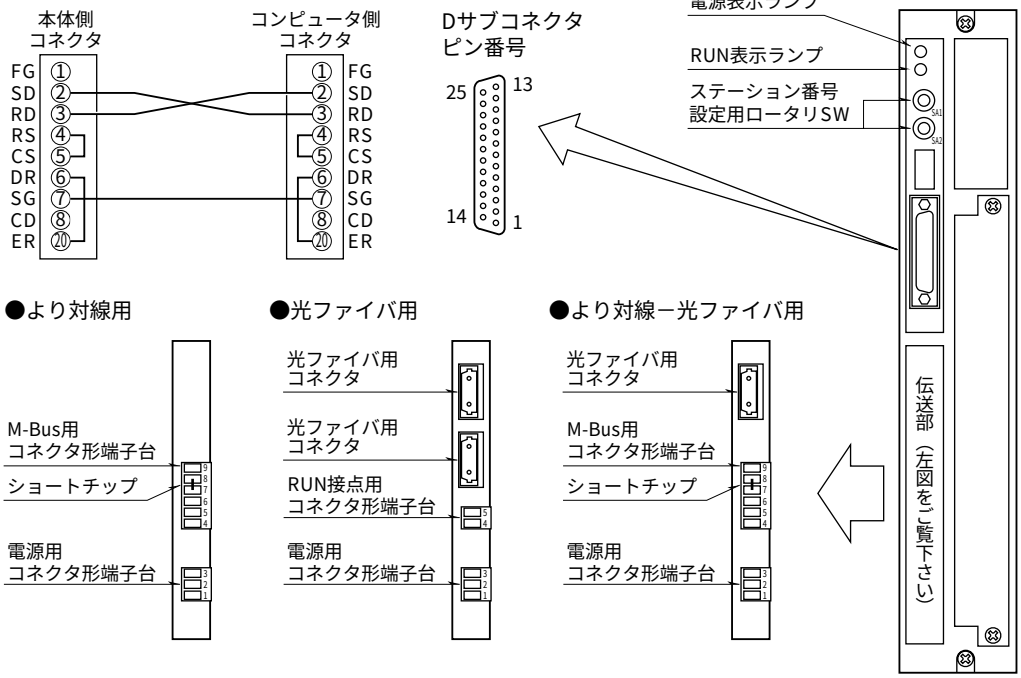
各端子の接続は次ページの端子接続図を参考にして行って下さい。

外形寸法図（単位：mm）



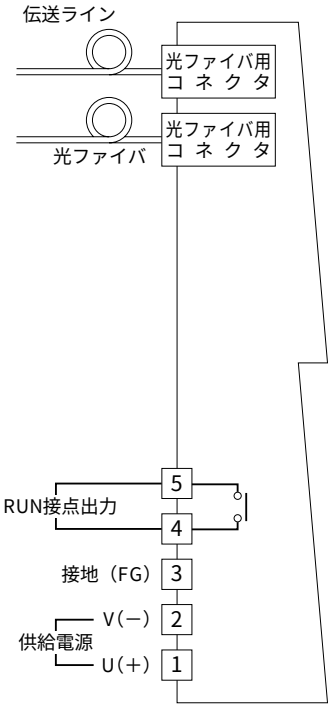
前面パネル図

・RS-232-Cの接続例

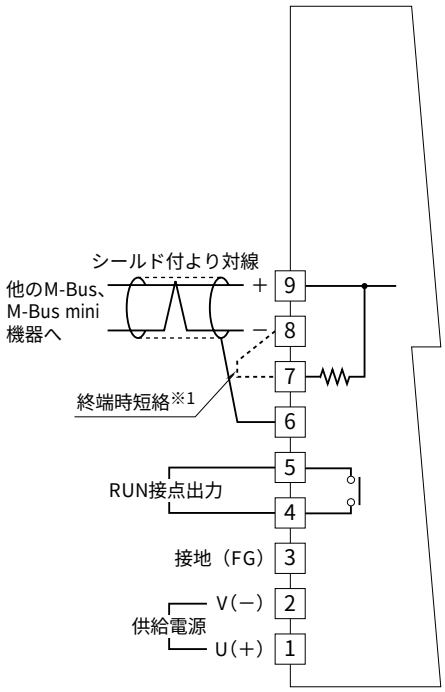


M-Bus・電源部端子接続図

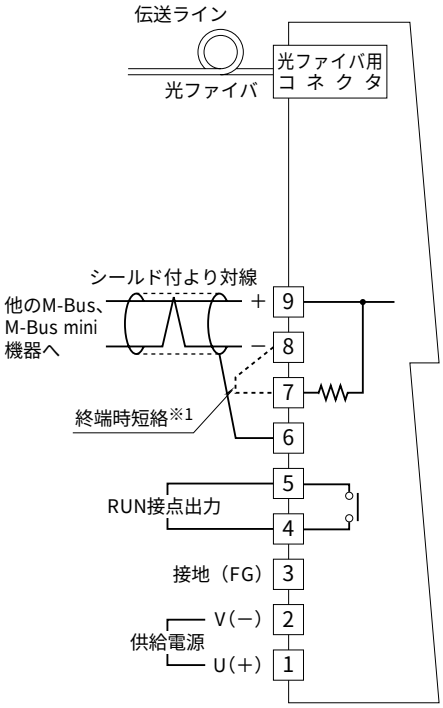
■光ファイバ用
（媒体形式コード：2）



■より対線用
（媒体形式コード：3）



■より対線ー光ファイバ用
（媒体形式コード：4）



※1、より対線の伝送ラインが終端の場合は（＝渡り配線がない場合）、端子7、8間を付属のショートチップ（または配線）で短絡して下さい。
ユニットが伝送ラインの途中に配線されているときは、端子7、8間のショートチップをはずして下さい。

保　証

本器は、厳密な社内検査を経て出荷されておりますが、万一製造上の不備による故障、または輸送中の事故、出荷後3年以内正常な使用状態における故障の際は、ご返送いただければ交換品を発送します。